



子ども医療費無料 稲沢市 小6まで拡大



■愛知県議会平成23年11月定例会閉会

11月29日に開会した11月定例会は12月16日に閉会しました。先月既報の当初提出議案の一般会計補正など予算関係3件、東三河県庁など条例の一部改正13件、収用委員会委員の選任などその他議案17件の合計33件に加えて、国の第3次補正を受けて、追加の一般会計補正約64億円、関係する基金条例の一部改正等4件、当初提出議案と合わせて38の議案について審議し、全会一致で可決、承認、認定、同意しました。

(左写真は12月3日に県講堂で愛知県名誉県民として顕彰された方々です)

●予算・条例関係

追加の一般会計補正予算は、63億6千2百万円、11月1号補正予算との合計は188億4千6百万円となります。2号追加補正の主な財源は国庫支出金約49億円、県債約14億円です。主な補正内容は、地域自殺対策緊急強化基金積立金約1億3千万円、緊急雇用創出事業基金積立金32億9千万円、河川・海岸事業など防災対策を中心とした公共事業関連が約29億5千万円です。

単行議案は地域自殺対策緊急強化基金及び緊急雇用創出事業基金の存続期限を1年延長するなどの条例の一部改正や市町村の負担金の変更についてなどです。

●請願・意見書など

【平成24年度愛知県私学振興予算の充実についての請願ほか】

愛知県私学振興会、愛知私学助成を進める会等から教育の公平を目指して学費と教育条件の公私格差を是正するなど私学助成の充実を求める請願がなされ、厳しい財政状況の中ですが公私父母負担格差の拡大抑制、教育条件の維持向上及び私学経営の健全化を観がみ全会派賛同しました。平成10年当時全国トップクラスだった経常費補助は現在40位です。

【自動車取得税及び自動車重量税の廃止についての意見書ほか】

民主党会派からは、上記のほか少人数学級の推進等の意見書を提出、全会一致で採択頂きました。医師会等からの要望を受け自民党が提案した、医療費の受診時定額負担の導入反対の意見書については、社会保障・税一体改革の趣旨から、高額医療費の負担軽減のために外来受診の度に100円を窓口負担していただくことは止む無しと思いますが意見書に同意するに至りました。

■稲沢市議会12月定例会

改選後の新市議会は12月5日に開会し22日に閉会の予定です。新人の**木全議員**は一般質問初日のトップで登壇し、公共施設の敷地借上げ料や稲沢西春線、新聞に取上げられた職員の名刺などについて市の取組を質しました。市民クラブでは**魚住市議**も国民総幸福度(GNH)等について質問しました。また、提出された議案第56号は子ども医療費の助成に関する条例の一部改正で、木全議員はじめ多くの方が選挙戦で訴えていた小学3年生までの**通院医療費無料を6年生までに拡大**するものです。

12月28日仕事納め 年末夜警
1月7日消防出初式
8日稲沢市成人式
11日稲沢警察署感謝状贈呈式



ADF地域フォーラムin稲沢2011

12月4日に勤福多目的ホールで、語り合おう明日の障害福祉を!テーマに開催。第1部の基調報告では愛知障害フォーラム(ADF)事務局長辻直哉氏から、1981年の国際障害者年、2006年の国連総会での障害者の権利条約の採択、2007年の日本政府の署名の経緯を踏まえ、本年7月に成立した障害者基本法の一部改正について一谷間の障害・手話・政策委員会の評価、及び2013年に制定を目指している障害者総合福祉法について55名の提言の実現に向けて思いの籠った講演をいただきました。



STEP 21 県政

REPORT



民主党県議団 **すすき純**

鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島11-24
Tel24-6600 Fax23-0791 juneri@mvd.biglobe.ne.jp

1112

■建設委員会県内調査 110728.0804.0824.1110.1118

建設委員会の県内調査は県内各建設事務所を隈なく回り現地調査及び地元市町村との意見交換(陳情)とハードな調査でした。7月の名古屋高速道路公社・尾張建設事務所から、西三河/豊田加茂建設事務所、三河建設事務所・三河港務所/新城設楽建設事務所、知立/知多建設事務所・衣浦港務所、一宮/海部建設事務所管内まで5日間に及びました。地元の一宮建設事務所は、稲沢市・一宮市・江南市・岩倉市・犬山市・大口町・扶桑町の5市2町を管内としており、人口約80万人、面積は県全体の6.5%に当たります。

●都市計画道路祖父江稲沢線

合併の新市建設計画に位置付けられている東西を結ぶ重要路線。平～西島(稲沢祖父江線 900m)、桜方～森上(名古屋祖父江線 750m)は着工済み、西島～森上の未着手区間は 1,450m、名鉄・日光川などが残っており一日も早い着工、供用開始を要望。

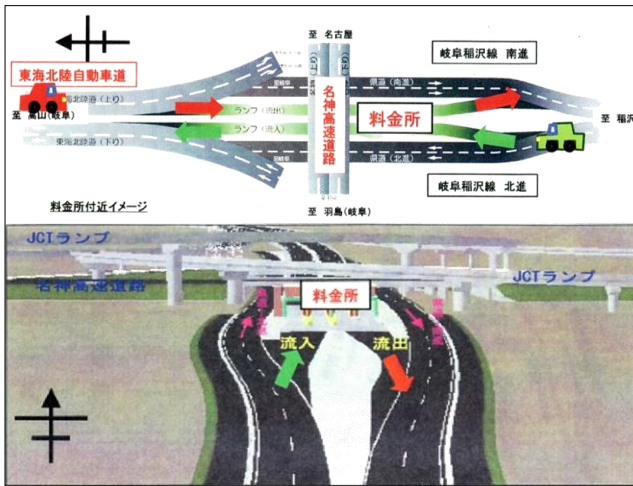
一般県道 稲沢祖父江線 L=0.9km W=16m(稲沢市平地内)



稲沢市内の東西幹線軸として県道天池片原一色線の交差部まで供用しています。現在、国道155号まで延伸するためバイパスの整備を進めています。

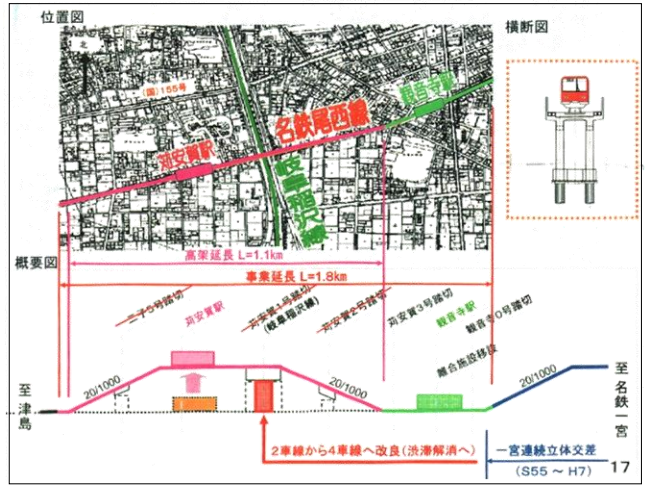


起点側(東)から終点側(西)を望む



●東海北陸自動車道西尾張 IC(仮称)

西尾張中央道の北高井交差点から尾西インターまでは約 3.5km、15 の信号交差点があり慢性的に渋滞、名神高速の南側に東海北陸自動車道のインター(地域活性化 IC、名神には接続なし)を設置し解消を図る。県道を両側に移設し中央にランプ・料金所を設置、現在用地取得を進めながら調整池の嵩上げ工事を実施中。



●名鉄尾西線苅安賀駅付近鉄道高架事業

西尾張中央道と交差する苅安賀1号踏切と近接する苅安賀駅を含めた約 1.1km 区間の鉄道を高架化。除却踏切は3箇所、電車すれ違いのための施設(離合施設)を観音寺駅に移設するため事業延長は約 1.8km。高架鉄道は平面(西尾張中央道)と東海北陸自動車道との間に設置、西尾張中央道は4車線化。



●都市計画道路稲沢西春線

西尾張中央道から一宮市内の R22号までの計画区間は 5.8km、工事区間は大江川(治郎丸)～市境の青木川まで 2.5km。街路事業、土地区画整理事業、道路事業と整備手法は異なるが一部供用を開始している。159 件の応募があった跨線橋の名称は「稲沢夢逢(ゆめあい)橋」に決定、今年度末供用開始予定。

STEP 21

名鉄本線交差部などの渋滞対策(連続立体高架含め) R22号までの接続が課題



新語・流行語大賞はなでしこジャパン でしたが震災関係が半分です。県議会は小村新知事・減税旋風に対し二元代表制の役割としては是非々々の立場で臨みましたが中京圏構想など課題山積です。今年もありがとうございました。来年が佳き年でありますように… 未来へつづくまちづくりへ 一生懸命動きます。愛知県議員 鈴木じゅん